

令和6年度取組成果に係る意見・質問／回答

事前照会

総合計画総合戦略の取組

通し番号	体系	No. (KPI)	重点業績評価指標 (KPI)	意見・質問内容	回答
1	1.1.2	10	伐採跡地への再造林面積	植樹は針葉樹が中心でしょうか？ 広葉樹の植林は実施されていないのでしょうか。	針葉樹(スギ)の植栽が主ですが、広葉樹(クヌギやイチイガシなど)の植栽も実施されています。
2	1.1.4	16	地域連携・賑わい創出のためのイベント数	NiQLLが賑わうのは結構なのですが、それが郊外でとどまっては残念です。町の中心部へも人の流れを呼び込む工夫も必要かと考えます。	「道の駅」都城NiQLLや中心市街地中核施設Mallmall及びスノーピーク都城キャンプフィールドにおいては、クリスマスシーズンに合わせたイルミネーション事業や、各施設を巡る各種スタンプラリー事業を連携して実施するなど、市内の回遊促進に取り組んでいます。引き続き、回遊促進に資する事業への取り組みを進めるほか、各施設に他施設の案内パンフレットを配置するなど、回遊に繋がるよう来街者に対する周知に努めて参ります。
3	2.4.3	33	交通安全教室開催数	自転車の交通違反に対する目が厳しくなっています。若年層のマナーの悪さが目立ちます。重点的な教育が必要と考えます。	市では、ハロー市役所元気講座等で申込みがあった場合に交通安全教室を実施しております。 小・中学生、高校生に対する自転車の安全教育については、学校側からの依頼を受けた、都城警察署や都城地区交通安全協会が学校に赴いて交通教室を実施しているところです。 これまで市としては主に、自転車の安全利用について、市ホームページ、広報紙、SNS等を活用し、広く周知、啓発活動を実施してきたところですが、令和8年4月1日から16歳以上の自転車運転者に対して、交通反則通告制度が適用されることから、今後は都城警察署や都城地区交通安全協会等の関係機関団体と連携を強化し、周知、啓発活動をさらに強化してまいります。
4	1.3.2	-	【施策】 中心市街地の活性化とまちなか居住の促進 (対象KPI: 24、25)	都城市への移住が給付金制度等により、促進されていることは大きな成果であるように思う。一方で、移住政策と定住政策(特に若者)のバランスをどのようにとるのかは慎重に検討が必要である。(移住者優遇とみられると地元の若者の県外就職等の意向が強くなる(帰ってくるかは不透明)ので、どのような移住者(Uターン者)が多いか、移住・定住意識等の詳細な分析が必要に思う)	定住に向けた具体的な施策としては、都城市に住み、地元企業に勤めた場合の奨学金返還支援事業、中学生に対する「選ばれる企業」づくりや企業巡見等将来都城市で働く環境づくり等を行っています。また、自然増対策における3つの完全無料化や保育所など働く子育て世代が住みやすい施策も、若い世代の定住促進になっており、これらの政策を複合的に進めていくことで、更なる定住につながるものと考えております。 移住者の分析としては、子どもがいる世帯が多く、40歳代以下の世帯が8割超となっており、移住支援施策を続けることで若い世代、生産年齢世代の人口増加が見込まれ、地域の活性化につながるものと見込まれます。

総合計画総合戦略の取組

通し番号	体系	No. (KPI)	重点業績評価指標 (KPI)	意見・質問内容	回答
5	4.12.1	-	【施策】 中心市街地の活性化とまちなか居住の促進 (対象KPI: 103～106)	「中心市街地が活性化している状態」をしっかりと定義付けし、ビジョンを共有した上でKPI等の設定が重要だと思われる。単なる人や店舗の「数」なのか、経済的効果なのか、別施策への波及効果なのか…より踏み込んだ議論をすべき時期に来ていると思う。	中心市街地が活性化している状態については、まちなかの歩行者数や店舗の数、市民満足度(市民アンケート)等の客観的な評価指標をもとに総合的に判断する必要があると考えておりますが、経済的効果等の評価指標につきましても議論を進めてまいりたいと思います。 今後も、Mallmallの整備によって創出した中心市街地に人が集まる機会と、その集客効果をまちなかの賑わい創出に最大限生かすことが重要と考え、再生プラン事業による魅力的な店舗の誘導、活性化プラン事業による回遊性を高めるイベント等の実施、居住推進事業によるまちなか居住人口の増加を図り、中心市街地のポテンシャルを高めることで、さらなる活性化を進めてまいります。
6	4.12.3	111	老朽危険空き家等の解体 除去件数(累計)	空き家の問題については今後益々進行していくと考えられる。空き家化の要因は家屋のみならず、庭の管理、荷物整理、相続等々が複雑に絡んでいるため、家屋の解体のみならず総合的なまちづくり・地域づくりの視点をもった施策を期待したい。	空き家の発生からできるだけ早期に利活用につなげることで、管理不全や地域の不安を取り除くことができると考えられるため、固定資産所有者に対する空き家活用・相談場所の周知、専門家を招いた空き家相談会やセミナーの継続的な実施、空き家情報等バンクでの掲載を進めているところです。
7	4.13.1	-	【施策】 戦略的な市のPR 推進 (対象KPI: 122、123)	おそらくPRの対象が市外なのか市内なのかで発信方法が異なると思われる。特に市内への情報発信についてはまちへの誇りや愛着の醸成に繋がるため、幼少期からの戦略的な展開が必要である。(後々の地元定着等につながる)都城市の市民性として「外から来たものは良いものだ」的な思考が強く、これを幼少期から刷り込まれているように思う。教育や余暇等と結び付けた魅力発信方法を検討して欲しい。	委員御指摘の「市内向け発信＝愛郷心の醸成」という視点には強く共感しており、本市としても今年度からこの意識をより明確にしながら取組を始めたところです。 具体的には、地域の魅力を体感できるイベントや取組、風景、場所などをまず「知ってもらう」ことを重視し、広報紙だけでなく、今年度から市公式SNSに加えて各部・各課の個別SNSアカウントを運用する体制へ見直しました。これにより、これまで拾いきれなかった小規模・ニッチな話題も機動的に発信できるようになっています。 効果は数値化が難しい面もありますが、リーチ数や反応率などの定量指標と、アンケート等を併用しながら点検してまいりたいと考えています。 今後も「知る → 行く → 感じる → 語る(発信する)」という循環を意識した広報展開を進め、市民(特にSNSに親和性の高い学生世代は重要な語り手)が自発的に“語り・共有”したくなる素材とタイミングを意識した発信を重ねてまいります。
8	1.1.2	7	林業大学校を卒業した新規林業就業者数	林業は都城市の主要産業の一つであるが、現在の従事者の平均年齢を考えた場合、どれくらい増やしていかなければならないか？	都城市の現在の林業従事者の平均年齢は把握しておりませんが、全国での平均年齢は令和2年度で52.1歳(令和7年度版森林・林業白書より)です。従事者の高齢化や過酷な労働のために将来的な担い手が不足することが予想されるため、この事業により、林業大学校を卒業した林業の専門的な技術や知識を有する即戦力のある人材を確保し、少しずつではありますが毎年度確実に担い手を増やしていきます。
9	3.10.1	85	拠点スポーツ施設の利用者数	都城運動公園は新しくテニスコートを整備されたが、観客席の日影が少ない。	令和6年8月に全面供用開始したテニスコートには、コート中央に屋根付きの観客席がございいますが、その両側にある観客席につきましても、今年度、日除け施設を設置する予定ですので、日陰を確保できるものと考えます。

令和6年度の実施成果に係る意見・質問／回答

事前照会

総合計画総合戦略の取組

通し番号	体系	No. (KPI)	重点業績評価指標 (KPI)	意見・質問内容	回答
10	4.12.3	111	老朽危険空き家等の解体 除去件数(累計)	解体が必要な候補となる空き家はどのくらい存在しているのか？	平成27～29年に実施した空家実態調査において、本市には1,985戸の空き家が確認され、その内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態の空き家等(特定空家等)として都城市が認定している件数は24件です。このうち18件が解体済みとなっているため、6件が残っている状況です。
11	4.12.4	115	上水道管の基幹管路の耐 震化率	全国で水道管の老朽化による破裂や道路陥没が最近よくニュースになっているが、都城市では、対象となりうる年数の経った水道管はどれくらいあるのか？	法定耐用年数の40年を超過した水道管は令和6年度末で約570kmで、水道管総延長の約30%となっています。
12	2.6.2	45	保育所等の空き待ち児童 数	一時期、保育所等で入所待ち児があり、職場復帰が困難な事例も聞かれました。令和7年度より、新たな取り組みをされているということですが、現状についてご教示ください。	保育士確保策として、令和6年度より保育士等就職支援金制度を実施しており、令和7年度には支給額を最大40万円から50万円に増額し、支援金対象者についても保育士、幼稚園教諭、保育教諭のみの対象から看護師、准看護師、保健師、小学校教諭、養護学校教諭、子育て支援員、新規採用職員を新たに対象としました。要件拡充により令和7年6月末時点で59名の申請があったところです。また、宮崎県の保育士・保育所等支援センターと連携し、ハローワークでの出前相談やマッチング支援を通じて人材確保を進めています。加えて、南九州大学に委託し、保育士試験対策講座や、子育て支援員研修を実施し、更なる保育人材確保に努めております。
13	2.7.4	58	特定健康診査受診率(受 診者数÷長期入院者等を 除く40歳以上の国民健康 保険被保険者数)	特定健康診査の受診率を上げることで、病気の早期発見・早期治療に繋がること(メリット)と受診しないデメリット(早期発見・早期治療しないことによる不都合、苦しみ等)を、今よりも強くアピールすることが必要ではないでしょうか。結果として、医療費の抑制(人工透析導入者数や糖尿病、高血圧症患者の減少)になると思われます。(具体的には、小中高校の学校教育の場での食育と病気の関係についてや、国保被保険者が多く加入する団体への継続的な出前講座(保健師や栄養士)等。)	今後も特定健康診査を受診することの効果を広く普及し、受診率向上のための取り組みを継続していきます。また、生活習慣病の早期発見や予防、重症化予防に加え、将来を見据えた健康教育を家庭や学校、地域と連携して実施していきます。
14	4.12.2	108	幅の狭い道路や見通しの 悪い道路の解消件数	取組事項とは少し離れますが、生活道路の安全性の確保として、路面の悪い箇所(凸凹やツギハギ)が多いように感じます。また、白線や横断歩道等の表示が薄くなったり、見えかかっているところも見かけます。改修、補修の取り組み(点検の頻度、優先度、改修等の基準など)について、ご教示ください。	(維持管理課)市道のうち、生活道路の維持管理につきましては、日常のパトロールを毎日、エリア毎に実施しており、穴凹等の通報があった場合は翌日までの補修に努めています。また、舗装の抜本的な改修につきましては、細かな基準はございませんが、劣化状況や交通量などにより優先順位を総合的に判断して実施しています。区画線の復旧につきましては、職員による調査や市民からの要望に基づきまして、順次実施しています。また、横断歩道の復旧につきましては、所管する県警に要望があったことをご報告しています。

令和6年度取組成果に係る意見・質問／回答

事前照会

総合計画総合戦略の取組

通し番号	体系	No. (KPI)	重点業績評価指標(KPI)	意見・質問内容	回答
15	1.1.2	8	公共施設の単位面積当たりの木材利用率 (公営住宅・PR性の高い施設)	令和5年が飛び抜けて多く、令和6年が少ない理由。	令和5年度は関之尾公園のリニューアルに伴い、柱や梁に木材を使用した木造構造の建築工事が行われ、例年より木材が多く使われました。令和6年度の建築工事は鉄筋コンクリート造や鉄骨造がほとんどを占めており、木材を使用できる部分が限られ、木材使用量が少なくなりました。
16	1.2.1	20	立地企業の新規学卒者採用数(累計)	新規学卒者が地元で働いてくれるのは非常に嬉しい。支援やコーディネーターなど連携に力を入れてほしい。	公共職業安定所、企業等と連携した就職説明会を開催し、高校と企業のマッチング支援や企業紹介冊子の作成・配布を通じて市内企業の魅力を発信することで、新規学卒者の地元定着を促進しています。また、小学生を対象としたキャリア教育、小中学生を対象とした夢見る課外授業、高校生や南九大生を対象とした企業巡見も実施しています。今後もこれらの取り組みとコーディネーターとの連携をさらに強化し、企業や学校との定期的な意見交換を行うことで、現場のニーズを的確に把握し、新規学卒者の地元就職を促進してまいります。
17	1.3.2	24	市の施策を活用した移住者数	移住者で人口が増えるのはありがたいが、定住率などでは何か数字が出ているのでしょうか？	移住者のうち移住応援給付金申請者については、(給付金返還となるため)市外転出等の確認を行っており、申請者について算出すると、98.7%が定住しております。申請者でない世帯員(配偶者や子等)及び申請のなかった方については、把握していないため、移住者全体の定住率は把握していないところです。
18	4.13.2	126	年間宿泊客数	都城市の魅力を観光、宿泊者に知ってもらいたい。さらなる情報の発信を望みます。	観光・宿泊者の皆様に本市の魅力をより深く実感いただけるように、ミートツーリズムや酒蔵ツーリズムの体験型観光コンテンツのPRをより強化するとともに、SNSやホームページ等オンライン媒体による情報発信においても同様に強化を図ってまいります。加えて、観光パンフレット等の整備、現地での案内等、各関係機関と連携して魅力発信を行ってまいります。

令和6年度の実績成果に係る意見・質問／回答

会議意見

総合計画総合戦略の取組

通し番号	体系	No. (KPI)	重点業績評価指標 (KPI)	意見・質問内容	回答
1	5.16.1	138	職場活性化調査による都城フィロソフィ浸透度	都城フィロソフィ浸透度が84.6%で概ね達成とあるが、浸透度はどうやって測っているのか。	浸透度84.6%は職員アンケート調査による数値です。フィロソフィーに沿った行動を意識しているかなどの項目で評価しております。
2	2.4.1	26	都城市災害時備蓄計画に基づく備蓄品の確保率	災害時の備蓄対策について、令和6年度実績は95%だが、段階的に100%を目指す理由については、何か制約等があるのか。また、今後の課題について	備蓄量確保や賞味期限による入れ替えを考慮し計画的に実施しています。また、現在スフィア基準に基づく備蓄品の見直しを検討しており、今後ハード面の整備も必要になると考えられます。
3	1.3.2	24	市の施策を活用した移住者数	移住者数について、令和6年度が令和5年度と比較して減少している要因はなにか。	移住応援給付金制度の見直しによる、単身世帯の給付額引き下げ、上限額の見直し、居住要件の延長(5年から10年に)が要因と史料。